

8月例会 「今の中国 ～機青連の仲間に伝えたいこと」

8月31日 於 久御山町ゆうホール

(株)ナカモト 中本 幸志

本年度、渉外連携委員会のメイン事業であります中国視察研修旅行(平成23年11月22日～24日)に向け、平成23年8月31日に久御山町ゆうホールにて、8月例会を行いました。

本年度、渉外連携委員会のメインテーマは「Own action! ～行って 見て 触れよう」です。そこで現在、大変な勢いで経済成長を遂げている中国に自ら行って、見て、触れて、私達の立ち位置を再確認するため、中国視察研修旅行を企画し、中国の情報、知識を得るための事前勉強会としての例会を行いました。

名高代表幹事の挨拶後、例会の趣旨説明、現在の中国に対する日本企業のビジネス展開や、高度化する中国市場、中国における経営上の問題点、中国のGDP成長率、日中貿易の動向などの中国の現状等を、パワーポイントで作成した資料にて説明致しました。

次に「今の中国 ～機青連の仲間に伝えたいこと」というテーマにて、パネルディスカッションを行いました。コーディネーターは渉外連携委員会の林克己委員。パネラーには、(株)木村製作所 木村社長、(株)坂製作所 坂社長、(有)木村技研 木村雅博氏をお迎えし、中国へ進出された理由、中国との接し方、どのような行動をされたかなど、林委員のコーディネートで、率直にお話し頂きました。

木村社長からは「マーケットとして魅力的」「日本でダメなら外(中国)に仕事を取りに行く」「日本(自社)でコア技術の技術力を上げ、中国で売る」「自社でしかできない技術を蓄積し、中国の日系企業に売る」「語学(片言でも)が必要。うちとければ非常にフレンドリー」等、語って頂き、「人脈の重要性」を改めて痛感致しました。

坂社長からは「日本の危機」「日本はぬるま湯、中国に行って勝つ!」「量産品を扱う企業は多いが、単品は自社のみ(中国企業以外)」「中国企業の技術レベル、製品品質は上がっているが、製品品質は最低限をキープしている」「日本人ブローカーの横行(日系企業にも来る。ローカルだけでは不安)」等、中国に進出する前の思い、中国に進出して感じた思い等を熱く語って頂きました。

木村雅博氏からは「数人の会社では中国進出は不可能と考えていたが、生田産機工業(株) 生田社長よりお声掛け頂き、チャンスと思った」「中国でのシンポジウム、学会に出席。シンポジウムの規模約1000人、日本と規模が違う」「現地大学の教授と知己を得た」「自動機の需要が高まっている。低賃金、多人数に任せてきたが、賄いきれなくなってきた」等、現在行動している中で、中国に対して感じたことについて語って頂きました。

最後に生田産機工業(株) 生田社長にもお話し頂き、「是非行って、見た方が良い」とのお言葉を頂き、改めて中国視察研修旅行へ向けて背中を押して頂きました。

最後になりましたが、例会にご参加頂きました皆様、誠にありがとうございました。

